

各町会の夏祭り

『羽田神社夏季例大祭』 令和4年7月31日



巡行の様子

新型コロナウイルス感染症対策を行い、三年ぶりに、祭りが行われました。短い時間ですが、選ばれた人達が神輿を担ぎ羽田ならではのヨコタ担ぎで盛り上がりを見物されていた人達の笑顔と感動を目にしました。

その後神輿は、台車に乗って羽田の町を疫病鎮静祈願の巡行をされました。午後はバス通りを通行止めにして、和太鼓、子供達のダンス、タヒチアンダンスで盛り上げ、弁天橋では神輿が大漁旗に見守られスタンバイしていました。神輿が勢揃いしていた事は残念でしたが、祭りができた事は本当に良かったです。通常の祭りに向けて皆さんの熱い気持ちを感した一日でした。また、高速下では大田区太鼓連合の方々が迫力のある太鼓打ちに大勢の方々が見入って、大拍手で、久しぶりのお祭り気分を味わいに喜んでいました。



ヨコタの様子

『三年ぶりのちむどん』

羽田の祭りの火が消えてから二年、規模は縮小しましたが三年ぶりに『ヨコタ』の掛け声を聞く事ができた夏。それぞれの町会のお神輿を出すことは、できませんでしたが『心づ』と羽田神社に集結し皆の姿に熱気が伝わってきました。

本羽田三丁目都南自治町会では、感染防止の観点から大人だけの本社御輿の巡行の迎え送りをいただき『中村囃子連、友好団体』の方からの応援を頂き行う事ができました。子供たちからは、子供神輿や出車を中止する事に残念がる子もいましたが、皆の幸せの為にこのコロナと上手に付き合う方法を探して地域の行事ができる事を願っています。



本羽田三丁目都南自治町会

『お囃子で神社神輿お迎え』

仲羽田町会、羽田神社例大祭の日神社神輿巡行をお迎えするにあたり、仲羽田町会会館に神輿を飾り、お囃子で盛り上げました。飾られた神輿をながめる人、お囃子の音でリズムをとる子ども達…。



仲羽田町会

皆、次回の祭礼は…、という気持ちでいっぱいでした。

(仲羽田町会)

『羽田神社夏季例大祭』 三年ぶりに開催

昨年は、『コロナ対策に留意しながらの祭礼』で、子供神輿、山車の出番無しで、弁天橋バス通り沿いの吊提灯も「寂し気」に揺れていた。

本祭「本社神輿羽田全町渡御(巡行)」は、台車上の神輿が、全町会を廻った。午後は、代表の「基」西町町会大神輿のみ。例年の「パレード型」でなく、各町会の高張提灯、「台車囃子」の先導で、台車に乗った大神輿が、弁天橋を出発し、産業道路まで行進して終了した。

(上東町会)



青年連合会

『コロナ禍でのお祭りの情景』

令和四年の夏が来た。夏祭りだ。ところが、七月に入るや新型コロナウイルスの第七波が猛威を振るひ拡大基調にあり、祭りもあと二日に迫った。

新築した町会会館に「祭礼神酒所」を造り、羽田神社の宮司さんにお祓いをしてもらいました。「神酒所づくり」にはベテランの神社委員を中心に造り始めたものの、三年間のプランクで、過去の記憶と写真をみての作業であった。羽田神社の橋



羽田大鳥居町会

『羽田のお囃子連』

羽田のお囃子連が祭礼の二日間、笛や鉦と太鼓を演奏しながら各町会を回り、聞きつけて出て来られた皆さんから温かい拍手をいただきました。お囃子の軽妙で独特な音色は、夏のお祭りを実感させ、雰囲気盛り上げてくれますね。

本来ですと、いわゆる「羽田のお祭り」は、地元のみならずたくさんの方の担ぎ手が羽田に集まり、十数基の大人神輿が勇壮な掛け声とともに町内を練り歩きます。そして、最終日午後の連合渡御というクライマックスで最高潮に達するのは、皆さんもご存じでしょう。

巡行に参加できるのは関係者のみ、また神社境内の露店も中止と、いくつかの制約があり、猛暑の中、参加者も見物客も大きな掛け声をこらえ、盛んな拍手で盛り上げ、神輿に早期疫病鎮静を祈願されていたものと思います。

(羽田下仲町会)

『お揃いのダボシャツをきて夏祭りに参加』

コロナ禍で、三年振りの祭りは縮小されました。各町会独自のやり方で神社御輿を迎えました。町会では、高速下で迎えました。婦人部は、お揃いのダボシャツを仕立てて、初めて手を通すことにしました。近い将来には、このシャツを着てお手伝いが、できるのでしょうか。みんなとても似合っていました。また着る機会を、楽しみにダボシャツを脱ぐことになりました。



お揃いのダボシャツ

『前河原子ども祭り』

夏休みに入り、ラジオ体操・盆踊り等中止ばかりの中で、子ども会主催で、羽田三丁目広場公園において、夏休み子供ゲームくじ引きで駄菓子をももらったり、輪投げ等を行いました。お母さん、子供たち四十五名が集まり、青年会、町会のお手伝いもあって、しばし楽しむ事ができました。近隣の方々も「盆踊りとかやるのですか」等々の声をかけてきました。みんな



前河原子ども祭り



巡行渡御



屋根瓦葺き替え

(秋中町会)



九ヶ月の修理から帰ってきた神輿をQRコードでご覧下さい。

『曳き太鼓による町内巡行』

コロナ禍の中、三年振りに行われた夏季祭典。縮小となりましたが、去年は、曳き太鼓を前日子供達参加で行いました。検温、消毒、縄を2mづつの間隔にテープで仕切り、町内を約時間巡行しました。五十人程の参加があり、始めてのお祭り気分を味わった子供達もほとんど、最後にお菓子をもらい大喜びでした。



西町の曳太鼓

(羽田西町町会)

『三年ぶりのラジオ体操』

本羽田二丁目町会では、五日間だけでしたが、八月末にラジオ体操を行いました。雨に降られることもなく、新学期に向けて体力を上げてゆくことを一つの目的にしましたが、高齢化の波は避けられず、平均参加者40名のうち小学生は15名、朝の河川敷には体力維持のためのトレーニングをしている方々も多く、健康的な場所でした。



ラジオ体操の様子

(本羽田二丁目町会)

『多摩川河川敷でラジオ体操』

二十年以上も続く、羽田本町三丁目町会主催の夏休みのラジオ体操。毎回百名以上、七日間で七百三十名の参加で

た。お母さんに手を引かれ眠そうに来る子、元気に走ってくる男の子、近所さんと連れ立って参加のお年寄り、皆さん広い河川敷に集合します。去年は出雲中学校の一年生23名が指導員となりました。若いパワーが伝わりました。夏休みのラジオ体操には、何か不思議な力があり、子供も大人も各々思い出があるのではないのでしょうか。



ラジオ体操の様子

(羽田本町三丁目町会)

『羽田大鳥居寿会が誕生しました。』

羽田地区には20の町会があり、各々の町会が様々な活動を行っています。羽田地区のシニア会は羽田旭町町会・羽田大鳥居町会合同でつシニア会として活動しており19のシニア会となりました。

令和四年五月十七日に新たに「羽田大鳥居寿会」を発足しました。これで羽田地区には20町会・20シニア会となり、シニア会の活動も各々の町会と連携したボランティア活動や会員同士のコミュニケーション活動など各町会の特色を活かした活動が更に活性化される事と思います。

「羽田大鳥居寿会」は、令和四年十月より本格始動しました。各町会・シニア会の皆様、今後ともよろしくお願いたします。

羽田大鳥居町会